

教師の心得 十五条 (令和三年度)

- 一、 いつの時代も勉強も怠るな 謙虚な心をもて (向上心)
- 二、 目の前のことだけでなく、その裏側にも心を注げ (児童理解)
- 三、 人のために頑張ったことはしっかりと受け止める (児童理解)
- 四、 良いところは うんと褒めてやれ (教育的愛情)
- 五、 叱るべきところは きちんと抜かすことなく叱れ
叱ったり、叱らなかったりするな (実践的指導力)
- 六、 教育は根比べ、決して諦めるな 情熱を注げ (教育的愛情)
- 七、 開花、結実を急ぐな、
花咲く土壌作りをしっかりと (学級経営力)
- 八、 こうだと決めたら ふらふらするな (使命感)
- 九、 ユーモアをもち、晴朗の心を失うな (人権感覚)
- 十、 先生という権威で子どもを縛るな 心で誘導 (人権感覚)
- 十一、 平素、輪の外にいる子に目を向ける (児童理解)
- 十二、 子どもと遊べ、そこから子どもが見えてくる (児童理解)
- 十三、 保護者と話せ、そこから子どもが見えてくる (保護者連携)
- 十四、 その子が変われば、仲間が変わる
逆に、仲間が変われば、その子も変わる (豊かな心の育成)
- 十五、 学級担任だけが、その子の担任ではないぞ
一人で悩むな 相談し合え (組織の一員)